



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 62 号
令和 4 年 1 月 28 日

生徒・保護者・教職員 学校評価の結果について②

校長 古市 直彦

学校評価のコメント欄にはたくさんのご感想・ご意見をいただきました。一部を紹介させていただきます。★印のついている部分は、学校からの回答です。

○服装・学校生活について

- ・制服を着て行かないで卒業してしまうと、買った意味がないです。安いものではないので、着て行くように学校の方で決めてほしいです。
- ・ジャージ通学をこのまま継続していただきたいです。衛生面や機能の面で、メリットが多いと感じています。
- ★現在、全国的にも感染拡大が続いている状態です。「校報 若松中だより 36号・54号」でお知らせしたとおり「3月末までジャージ登校可」を継続しますが、3年生に関しては、受験に向けて「制服登校の日」の設定等の対応を進めております。
- ・制服を取り扱うフリマのようなものを開催していただけないでしょうか。
- ★学校として売買の仲介をすることは法律的にできません。ご寄贈いただいたものをPTAバザーで販売することは可能ですが、現在は、バザーも開催できない状態が続いております。本校同窓会でも、検討を始めてくださっています。
- ・体調が良くなく寒いと感じるときは教室でも上着の着用許可を出せる校則を盛り込んでほしい。
- ★現在でも、体調不良時の配慮はいたしております。遠慮無く担任等にお申し出ください。
- ・昇降口で上着を脱ぐ事は、このコロナ禍で昇降口の混雑や密に繋がると思いますし、一年生はリュックを一回下ろしてから又背負う事になるので、そこは臨機応変には出来ないでしょうか？
- ★現在でも、雨天時や昇降口が混雑する時は、臨機応変に対応しております。
- ・給食の量が少ないです。味も…
- ★本校の給食は、大宮給食センターが担当しております。要望は出し続けておりますので、年々改善はされつつある状況です。
- ・安全上、心配な通学路があるのですが…
- ★学校としてはすぐに改善できない範囲のようですが、具体的にご指摘をいただいた部分に関しては、千葉市の方に改善要望を出して続けております。これからも、お気づきの点がありましたら、お知らせください。安全上、通学路として認められていない路地もありますのでご注意ください。
- ・靴下を黒や紺でもよしとしたのは大英断だと思いました



○行事について

- ・中学校生活がコロナ一色の中、体育祭が総合スポーツセンター陸上競技場で出来た事は、とても良かった事だと思います。来年も、可能であれば陸上競技場でやっていただきたいです。
- ・若中は、他校より実施できている行事が多いようで、ありがとうございます。
- ・2年生の自然教室の中止は残念でした。市で一律に決定するのではなく、各学校で時期や内容、実施の有無を検討しても良かったのではないかと思います。
- ★自然教室に関しては、利用する施設を千葉市で一括して借り上げ、市内54校で使用日時を割り

振っているため、学校毎の判断ができない状態です。また、早めの判断をしたため、結果的に「できたのでは…」と感じる行事もありましたが、キャンセル料の発生や準備期間の必要性、そして何より、子どもたちの安全を第一に考えての判断です。ご理解ください。

○部活動について

- ・中学校でもクラスターがありました。部活の朝練より体調管理と十分な睡眠が大事だと心から思います。
- ・部活動の活性化。顧問と部員における協働活動に期待しています。
- ・どうか、部活動ガイドラインに沿って限られた時間の中でも集中すれば、力になるということを感じて下さい。
- ・コロナ禍で、大会への応援や見学に制限がある為、大会の様子などを数ヶ月に一度程度、教えて欲しいです。
- ・校外活動の場合の帰宅時間がわかると助かりますが、すぐーるは使えますか？
- ・部活動の出欠で連絡で、すぐーるを使えると便利だと思うのですが。



★部活動に関しましても、活性化・自粛と双方のご意見をいただきました。保護者の皆様の応援に関しましても、千葉市からの指示や感染の拡大状況、種目の特性などを考えながら少しずつでも解除の方向に向けることができるといいのでは…と思っています。「すぐーる」の活用は、システムの設定が必要になりますが、前向きに進めたいと思っています。

○「校報 若松中だより」について

- ・学校だよりが多すぎます。内容を精査してほしいです。
- ・学校だよりの発行頻度が多く、コロナ禍で行事等もなく活動が制限されている中、生活内容が丁寧に伝えられているので、先生方に感謝しています。
- ・他の学校のホームページを見た時に、学校便りの発行数が若松中学校と比べ物にならないほど少なかったのがびっくりしました。学校に保護者があまり行けない今は特に、学校だよりを発行していただくことで様子がよくわかるので、とても感謝しています。
- ・学校だよりを毎号HPにあげてもらい、助かります。ついでになってしまいますが、すぐーるにも流すことは難しいのでしょうか。

★「校報 若松中だより」を「すぐーる」で配信することは前向きに検討したいと思っています。その場合は、肖像権の関係で、ホームページにも掲載している写真が不鮮明なものになると思いますが、ご了承ください。

学校評価を「すぐーる」上でお願いした成果なのでしょうか、今年は、例年に比べ圧倒的にたくさんのご意見やご質問をいただきました。誌面や内容の関係でご紹介や回答がしきれないものもありますが、いただいたご意見等は、できるだけ今後の学校運営に生かしていきたいと思っています。

また、今回の学校評価では、次のような内容のメッセージを多くいただくこともできました。

学校のおたよりで校長先生が書かれている文面から子ども達への思いを感じ、大変有り難く拝見させて頂いております。娘から聞く中学校での雑談から、担任の先生も子どもの声をたくさん聞いてくださるようで、そして話しやすい環境を作ってくれているのを感じます。そして委員会で関わって頂いてる先生とも仲良くして頂いているようで恵まれた環境で感謝致します。今後も変わらずこのような環境作って頂ければ幸いです。お世話になりますどうぞ宜しくお願い致します。

本年度も、これまでの経験が全く役に立たないほどのコロナ禍もとの学校生活となりました。学校や職員としても、不安な状態が続いていました。試行錯誤の連続でしたので、保護者の皆様にもいろいろのご心配をおかけしたことと思いますが、このようなメッセージを多くいただけたことは素晴らしいエールをいただいたようで、本当に嬉しいです。まだまだ至らない点も多いとは思いますが、若松中の子どもたちのためにこれからもがんばっていききたいと思っています。ありがとうございました。